



WTA校で夏休み作品展、力作集まる

先週の28日(土)朝、子どもたちが夏休み中に取り組んだ作品を抱えて登校してきました。それを展示会場のカフェテリアへ搬入、展示してくれました。お昼までの展示とあって、授業の合間を見ての鑑賞になりました。じっくりと味わいながら見るができなかったのは残念です。皆さんはいかがだったでしょうか？もっと長く展示できたらいいのですが、借り物校舎の土曜日だけの補習校では、これが精一杯の



展示
な
の
か
も
し
れ
ま
せ
ん。

この休み中に生徒の皆さんが頑張ったことは、お父さんお母さんがよく分かってくれているし、何よりも自分自身が一番よく知っていることだと思います。作品を仕上げたことに自信を持ち、これからの学習に活かしてください。

リレーの練習始まる



9月18日に予定しているWTA 幼初等部の運動会に備えて、リレーの選手に選ばれた子どもたちを集めて、グラウンドで練習が始まりました。運動会の最後を飾る紅白対抗リレーとあって、皆張り切っています。当日が楽しみです。

また、午後にはWTA 中高等部生徒会主催の「夏祭り」が時間を工面して行われました。ゲームを楽しんだ後は、保護者の用意してくれたスイカにありついて大満足！スイカのビッグスマイルをくれました。



補習授業校を支える人々 その3

1時間目の授業開始の時間に教室を覗くと、今まで見たことのない光景に遭遇しました。下の写真がそれです。男性二人が子どもたちの前に立ち、本を手に読み聞かせをしているところでした。子どもたちも興味深げです。

後で教頭先生に聞いてみると、WTA 校では朝、登校して教室に入った子どもたちの安全を確保するために、各クラス毎に交替で保護者の皆さんが、子どもたちを見守ってくれるシステムになっているとのこと。学年によってはその時間を利用して読み聞かせをしたり、漢字テストをしたり、提出物の回収をしてくださっているとのことでした。知らなかったのは私だけだったようです。

それにしてもお母さんから読み聞かせをしてもらう機会はあってもお父さんにしてもらう機会はそう多くはないと思います。そうした意味でとても貴重な活動だと感じました。取り組みをされている皆さん、今後とも子どもたちの意識を活性化させるためにも、引き続き活動をよろしくお願いいたします。



初等部二年三組の朝の様子